

就勝就喝！

北海道科学大学

北海道科学大学（札幌市）は工学や医療系などの学部を持つ。学部・学科ごとの就活スケジュールに沿った支援体制を整えるほか、低学年からキャリア教育に力を入れている。3月末まで就職支援センター長を務めた北間正崇教授に同大学の支援策について聞いた。

◇ ◇

本学は工学部と薬学部、保健医療学部、未来デザイン学部の4学部がある。メーカーなどの企業他、資格を取得して病院に勤務するなど学部・学科によって就職先は多岐にわたる。採用のスケジュールも異なる。それぞれの就活スケジュールにあ

キャリア教育、必修化も

教授

北間 正崇氏



うよう支援している。

就職支援センターで全学的な情報や役割は集約する。学科ごとに「就職支援センター主任」をおいて教員がサポートする体制を整えている。学科内でもさらに細分化し、各学生が所属するゼミの教員も就職支援にあたる。他の大学と比較しても教員が関わっている割合が高い。

2021年度の就職率は99.9%と高い水準を維持した。北海道でも歴史がある大学で、就職担当の教員と企業との間で情報共有ができていて、各業界で活躍している卒業生とのネットワークを生かしている。

学部を問わず共通で理解してもらいたい事柄については、キャリア教育の講座を設けることで対応している。外部から講師を招き、就職活動がどのような

早期離職を防止

ものか教えている。

就活時期に入る学年に進級しても、就職の方向性が定まらない学生が増えている印象がある。その影響で就活が遅れてしまったり、内定を得ても入社後に定着しなかったりする。

講座は現在、半期で2〜3回開いている。早ければ24年度にも医療系の2学部を除いて講座を必修科目にすることを検討している。キャリア教育を通して自主的に会社を探せる力をつけてもらいたい。十分な研究をした上で受けることになるので、離職も減るのではないかと。

必修化して講義形式ではなくグループワーク中心にしていきたい。ワークはできるだけ複数の学科に所属し異業種を希望しているような学生を集めて開く考えだ。学生が自分とは違う考え方の人と話すことで視野が広がればと思っている。

企業の採用も早期化になっている。低学年からのキャリア教育で年々前倒しされている就職活動に対応できる体制を整えたい。（聞き手は久員翔子）